

ビッグイシュー日本版 媒体資料 (2021年9月改定)

はじめに



ビッグイシュー日本版は、ホームレスの人々が販売を通じて、自立することができる雑誌です。

私たちは、貧困と社会的排除の極致であるホームレス状態の当事者と共に、この問題の解決にチャレンジしています。

読者は、貧困・格差、平和、人権、エコロジーなど、社会問題について 意識が高く、寄付やボランティアにも積極的、より良い社会を創る意思 のあるアクティブな層です。

そのため、企業のCSRを紹介する記事広告、エコロジー・エシカルな企業イメージ広告などで多くの反響をいただいています。 イベント告知などは弊社SNSでも拡散、ビッグイシューのオンラインマガジンへ転載することで、さらなるWEB上での拡散も見込めます。

また、広告費が弊社の活動を通じて、貧困問題の解決のために使われ、社会に還元されるという点も、他の媒体にはない特徴です。

国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」 の17のゴール。一番最初にあげられている貧困問題への取り組みの 一つとしてもご検討ください。



ビッグイシュー日本 共同代表 佐野章二

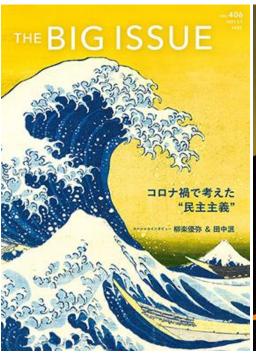
ビッグイシュー日本版とは



ホームレスの人たちの自立支援のために生まれたストリートマガジン

ビッグイシューは、1991年にイギリス・ロンドンで生まれました。質の高い雑誌をつくり、その販売をホームレス状態にある人たちの独占販売とすることで、彼らの仕事をつくり、自立を支援する事業を展開しています。日本では、2003年に「ビッグイシュー日本版」を創刊。一貫して、ホームレスや貧困問題を中心とする社会問題の解決に挑戦しています。









ビッグイシュ一販売の仕組み



1冊あたり230円が販売者の収入になり、生活の自立を支援する

ビッグイシューの販売者は、現在路上で生活しているか、あるいは安定した自分の住まいを持たない人々です。定価450円の雑誌「ビッグイシュー日本版」を路上で売ることで、1冊あたり230円の収入を得ることができます。最初の10冊は無料で提供し、その売り上げ(4,500円)を元手に、以降は、1冊あたり220円で仕入れて販売することで、自分の力で生活することを支援する仕組みです。



創刊以来、18年間の取組み



これまでに累計923万冊を販売し、14億4,190万円の収入を提供

ビッグイシュー日本版では、2003年9月の創刊以来、延べ1,982人が販売者として登録し、14億円以上の収入を、直接、ホームレスの人たちに提供してきました。(21年8月末時点) 年々、野宿生活者は減っていますが、ネットカフェ難民に代表されるように、路上で見えない若者ホームレスの人が増加しています。今後も、社会から排除されやすい生活に困窮する人々、生きるのに困難を抱える人々とともに、継続的な活動が求められています。







雑誌「ビッグイシュー日本版」



路上販売と定期購読(配送)で、月2回、全国の読者にお届けする

販売場所は、北海道から鹿児島県まで、12の都道府県の路上。現在は、106人の販売者によって、ビッグイシューが販売されています。また、近くに販売者がいないという多くのご要望を受け、2018年からはインターネットでの定期購読(配送)や全国のオーガニックショップやカフェなどでの委託販売も開始しました。





■創刊:2003年9月

■発行部数:2~2.5万部

■版型:A4版、オールカラー32ページ

■販売場所:全国12都道府県の路上

■定価:450円(内、230円が販売者収入)

■発売日:毎月1日·15日発行

■発行:有限会社ビッグイシュー日本

■読者プロフィール

社会貢献に関心が高く、 実際に行動する層

- 40代~60代を中心に幅広い年齢層。
- 東京、大阪を中心とした都市圏で暮らす層。
- 半数以上の人が貧困・格差、自由・人権、平和、環境 ・エコロジーなどに関心。
- 75%の人が月に1回以上購入する (毎号購入が59%※定期購読含む)
- 83%が2/3以上を読むと回答 (うち61%はほぼすべて読むと回答)

出典)2019年度読者アンケート(N=1,287)

3つの特長



ここでしか読めない多様なコンテンツを、タイムリーに発信

ビッグイシューでは、世界的に有名なハリウッドスターやミュージシャンが表紙を飾り、日本からも、ビッグイシューの理念に賛同する各界の著名人が、人気連載に登場しています。このようなエンターテインメントや音楽、映画から、様々な社会問題を扱った硬派な記事まで、他では読めないバランスの取れたラインナップになっています。

Feature 01

各界著名人が登場する 人気連載多数



リレーインタビューには各界の著名人が 登場。雨宮処凛さん、浜矩子さん、池内 了さん、枝元なほみさんも連載。販売者 が読者の悩みに答える「ホームレス人生 相談」は、ここでしか読めない人気記事。

Feature 02

海外記事や特集記事 が充実



世界120誌以上のストリートペーパーから記事を共有し、路上から世界の最新ニュースを発信。また、社会問題、環境問題、自然科学、暮らし方、文化・アートなど特集テーマは多岐にわたります。

Feature 03

バックナンバーも 大人気





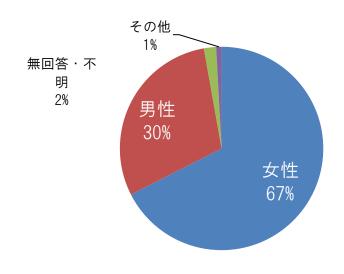


最新号だけでなく、バックナンバー販売も販売者の貴重な収入源。そのため、特集などは数年たっても古くならない内容づくりを心掛けています。また販売者も、長く売る工夫をこらしています。

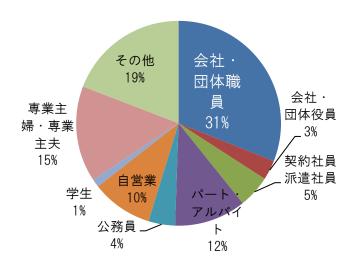
読者の属性 1



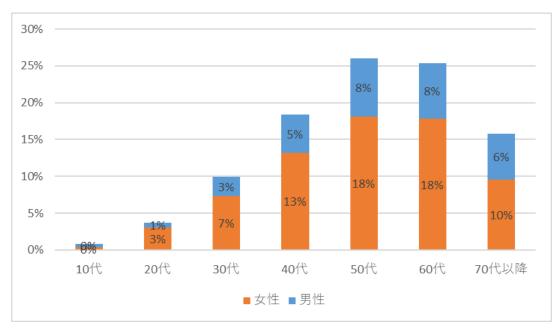
■性別:約7割が女性



■職業: 有職者比率が高い



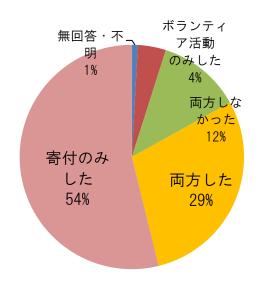
■性年代: 40~60代女性の比率が高い



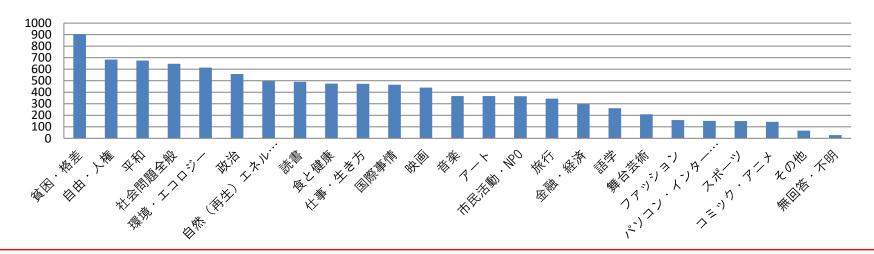
読者の属性 2



■過去1年間の寄付・ボランティア経験:約9割が実施



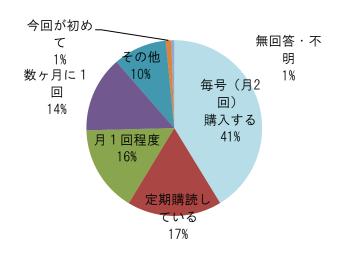
■興味・関心(複数回答):貧困・格差、人権など、社会問題に関する興味・関心が高い



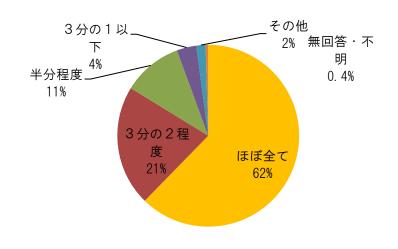
読者の属性 3



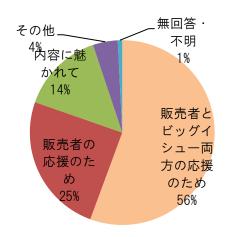
■購入頻度:7割以上が毎月購入



■精読率:8割以上が2/3以上を読む



■購入理由:誌面も仕組みも応援する熱心な読者



「ビッグイシューオンライン」について



WEB上の、もうひとつの「ビッグイシュー日本版」

ビッグイシューオンラインには、独自の編集部を創設しています。雑誌版と連動し、記事の採録、誌面には載らない海外翻訳記事、オンライン独自記事など、タイムリーなコンテンツをラインナップし、本誌の販売地域以外にもアピールしています。

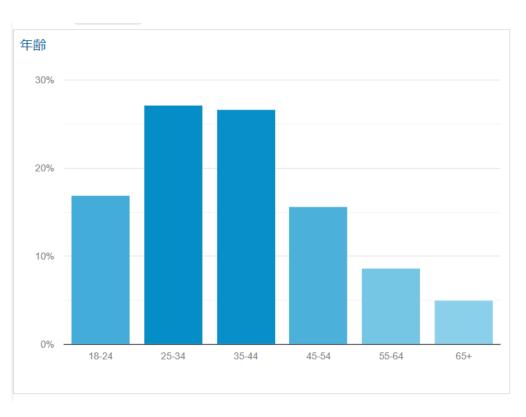


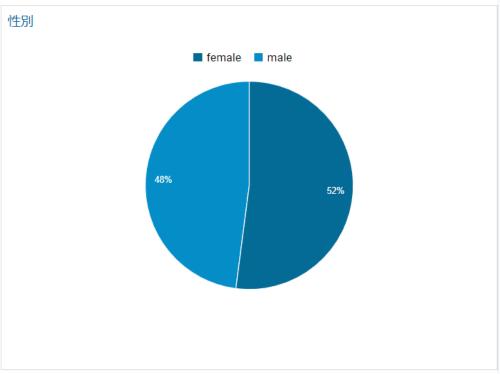
年間UU数:44.3万人 | 年間PV数:58.4万人

ユーザー属性



■性年代:男女比は半々。20~30代が中心。





(期間:2020年9月1日~2021年8月31日)



ビッグイシュー日本版に、ご協賛いただくメリット



① 御社の社会貢献活動に直結

企業CSR活動が取り組むテーマはますます多岐に渡っていますが、なかでも喫緊の課題が貧困問題ではないでしょうか。広告出稿、あるいは企業広告サポーター(広告寄付)としていただいた費用は、有限会社ビッグイシューの運営費として、貧困問題の解決に寄与します。

② 社会意識が高く、自ら行動する層にアピール

昨年1年間で、寄付やボランティアの経験者が87%。<u>他雑誌と比べ、圧倒的に社会意識が高く、</u>アクティブに行動する方々が読者です。社会への貢献に、大きな共感を得られます。

③ 30代~60代を中心とした都市圏の読者層

ビッグイシュー読者は一定の社会経験があり、行動力や発信力、知的好奇心がある方々。 ひいては<u>同世代のオピニオンリーダー</u>ともいえます。またNPO法人ビッグイシュー基金に高額の 寄付をいただく例などもあり、<u>経済的に余裕のある層</u>でもあります。

④ コストパフォーマンスの高さ

他雑誌と比べて安価な広告料金で、十分なスペースがとれます。 イメージ広告はもとより、記事広告などで具体的なメッセージを伝えるのにも適しています。 また、ビッグイシューの広告は本誌と同じスタッフで制作しており、社会貢献の分野における 高いリテラシーで定評をいただいております。

「雑誌広告」の掲載例



①ターゲットを絞った広告

社会問題に関心の高い層に、ピンポイントでPRするのが得意です





トヨタ財団様

●国内助成プログラム 募集告知広告 (記事中・三分の一)

損害保険ジャパン日本興亜様

●「市民のための環境公開講座」 告知広告

(表4・1ページ)



市民意見広告様

●意見広告への 賛同呼びかけ (表3・四分の一枠)

②メッセージ性のある記事広告

記事広告は本誌と同じスタッフで制作しており、 特に社会貢献の分野において、質の高いコンテンツ制作への信頼と評価をいただいております。



パナソニック株式会社様

● 「Panasonic NPOサポートファンドの 助成を受けた団体を紹介する記事広告。 2011年より継続的に掲載。

(記事中・2ページ)

「雑誌広告」の掲載例



③特集企画

読者の関心が高いテーマに関連して、広告特集を組むことも可能です。また広告内容にマッチした特集テーマの号に掲載することで、より効果的にPRできます。



フェアトレード広告特集(2017年5月1日号) 世界フェアトレード月間に合わせ、「フェアトレード」「コミュニティトレード」に取り組む企業を紹介する広告特集を実施告知。 (記事中・2ページ)

④オンラインとの連動

1ページ以上のご出広をいただく場合、ビッグイシュー公式FACEBOOKやツィッターにて告知、拡散します。

記事広告の場合、記事内容をwebマガジン「ビッグイシューオンライン」に 転載することも可能です(弊社制作の原稿の場合転載料50,000円~)。



ファイザー株式会社様

●「ファイザープログラム」の 募集告知、および助成団体の紹介記事広告シリーズ。 ビッグイシューオンラインにも転載。年間報告小冊子作成の実績もあり。(記事中・2ページ)



中央労働金庫様

●「中央ろうきん若 者応援ファンド」の 助成団体紹介。ビッ グイシューオンライ ン」にも転載。

(記事中・1ページ)

※本誌にご出稿いただいたクライアント様に限り、弊社公式サイトでのバナー出稿もお受けいたします。

「オンライン広告」の掲載例



スポンサーバナー:月額50,000円~、応相談。

フェイスブック(フォロワー数20K)、ツイッター(フォロワー数3.1万人)でのスポンサー紹介も月に2回程度実施いたします。



スーパービッグバナー 最大サイズ960px × 250px



「オンライン広告」の掲載例



イベントレポート、採録記事:200,000円~、応相談。

●ご活用例

大学の講義、企業や市民団体が主催する講演会、対談、シンポジウムなど

●メリット

①主催団体、法人様のPR

社会貢献意識が高く、発信力のある層に直接届きます。 また、ビッグイシューのSNSを通じて拡散。 さらにYahoo!ニュースのトピックス、BLOGOS、現代ビジネスなど、 外部媒体にピックアップされることで、より広い層へのリーチも期待できます 例)



「子どもの貧困問題について本気で考える会:ビッグイシュー×Teach for Japan」 →イベントレポート記事が半年で16,948PV(11月15日現在)

◆2017年8月5日公開

「家庭環境や経済状況、病気や障害など、困難に直面する若者が"生きる選択肢を増やす連携"を広げたい」(中央ろうきん様 記事広告でのNPO鼎談)

→「BLOGOS」に転載、拡散

②記録として残す

採録はビッグイシューオンラインの記事として、アーカイヴされます。特にビッグイシューと親和性が高いテーマの場合、繰り返し検索され、また読まれることになります。



企業様向けプログラムのご紹介



①企業広告サポーター

雑誌「ビッグイシュー日本版」へのご支援として「広告寄付」でご協力いただく仕組みです。対象は基本的に企業、団体ですが個人も可。 1口10万円から受け付けています。現在54の企業、団体、個人様にサポーターになっていただいています。

【特典】

- サポーターとして1年間、雑誌各号(年間24回)の巻末ページに企業(団体)名を掲載します。
- 『ビッグイシュー日本版』を各号3冊、1年分送付します
- 『ビッグイシュー日本版』合本(非売品)を贈呈いたします。



御社のCSR活動の一環として、『ビッグイシュー日本版』定期購読はいかがでしょうか。

- 年間購読料11,000円(計24冊、送料・税込み)
- 1年単位でお申込みいただき、ご入金確認後、最新号より発送いたします。
- ※公立図書館、学校図書館、社員休憩室など、多くの人が集まる場所を対象とした制度です。

ご希望があれば弊社HPの「ビッグイシューが読める場所」リストに掲載をさせていただきます。

https://www.bigissue.jp/buy/place/

③道端留学

「働くことの意義」を再確認するため、販売者の方たちと一緒に路上に立ち『ビッグイシュー』を販売する体験をしていただくプログラムです。 社員研修として、またCSRのプログラムとしてご活用いただけます。また、道端留学と同時に「ホームレス問題」「貧困問題」「社会貢献」な どをテーマとした勉強会を行います。

- 対象:新入社員、若手中堅、管理職、経営陣
- 時間:1日(10:00~17:00) ただし時間はご要望にあわせて調整可能です
- 場所:都内駅前など/研修室



ビッグイシュー日本版は、市民の皆様によって支えられています。

どうぞお気軽にお問合せください。 見本誌等をお送りいたします。



お問い合わせは弊社ホームページよりお願いし ます

<u>広告掲載について | ビッグイシュー日本版</u> (bigissue.jp)